



2023年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2022年12月15日

上場会社名 株式会社ノバック 上場取引所 東
 コード番号 5079 URL <https://www.novac-cnst.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 立花 充
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼総務部長 (氏名) 大谷 敏博 (TEL) 079-288-3601
 四半期報告書提出予定日 2022年12月15日 配当支払開始予定日 2023年1月16日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年4月期第2四半期の業績(2022年5月1日~2022年10月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年4月期第2四半期	16,624	△5.7	1,747	△6.7	1,737	△7.3	1,490	16.5
2022年4月期第2四半期	17,637	—	1,872	—	1,874	—	1,279	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年4月期第2四半期	289.34		—					
2022年4月期第2四半期	278.20		—					

(注) 1. 当社は、2021年4月期第2四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2022年4月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年4月期第2四半期	28,957	18,543	64.0
2022年4月期	28,978	17,569	60.6

(参考) 自己資本 2023年4月期第2四半期 18,543百万円 2022年4月期 17,569百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年4月期	—	0.00	—	100.00	100.00
2023年4月期	—	60.00	—	—	—
2023年4月期(予想)	—	—	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年4月期の業績予想(2022年5月1日~2023年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	△6.7	2,750	△6.9	2,730	△6.0	2,150	2.1	417.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年4月期2Q	5,202,800株	2022年4月期	5,202,800株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2023年4月期2Q	52,211株	2022年4月期	52,170株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年4月期2Q	5,150,627株	2022年4月期2Q	4,597,830株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュフロー・計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報など)	9
3. その他	11
(1) 四半期受注の概況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策における各種政策の効果や行動制限の緩和により、経済活動は正常化に向かうなか、緩やかに回復傾向が見られました。その一方で、ウクライナ情勢の長期化による原油・原材料価格等の高止まりや円安の進行などによる懸念材料が見込まれ、依然として景気の先行きは予断を許さない状況が続いております。

そのような状況において、建設業界におきましては、公共建設投資は国土強靱化計画のインフラ対策等により底堅く推移し、また民間建設投資も設備投資意欲の回復等により持ち直しの動きが見られる一方、建設資材価格の高騰や受注競争の激化、労働者不足等が顕在化しており、引き続き経営環境への影響を注視する必要があります。

このような状況の下、当第2四半期累計期間の受注高は26,974,207千円（前年同四半期比74.6%増）となりました。売上高は、16,624,258千円（前年同四半期比5.7%減）、営業利益は1,747,611千円（前年同四半期比6.7%減）、経常利益は1,737,306千円（前年同四半期比7.3%減）、四半期純利益は1,490,264千円（前年同四半期比16.5%増）となりました。なお、営業利益率は前年同四半期が10.6%に対して当第2四半期累計期間は10.5%となり、0.1pt低下しました。

セグメントごとの経営成績を示すと、次のとおりであります。

(土木工事業)

受注高は8,302,856千円（前年同四半期比24.3%減）、売上高は7,771,558千円（前年同四半期比3.4%減）、セグメント利益（営業利益）は1,411,360千円（前年同四半期比10.2%増）となりました。なお、営業利益率は前年同四半期が15.9%に対して当第2四半期累計期間は18.2%となり、2.3pt上昇しました。

(建築工事業)

受注高は18,671,351千円（前年同四半期比315.9%増）、売上高は8,846,939千円（前年同四半期比7.7%減）、セグメント利益（営業利益）は333,463千円（前年同四半期比43.4%減）となりました。なお、営業利益率は前年同四半期が6.1%に対して当第2四半期累計期間は3.8%となり、2.3pt低下しました。

(その他)

売上高は5,759千円（前年同四半期比3.8%減）、セグメント利益（営業利益）は2,787千円（前年同四半期比5.4%減）となりました。なお、営業利益率は前年同四半期が49.3%に対して当第2四半期累計期間は48.4%となり、0.9pt低下しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末の資産合計は、28,957,857千円と前事業年度末と比べ20,153千円（0.1%）の減少となりました。主な要因は、受取手形・完成工事未収入金等が3,183,954千円、有形固定資産が1,950,823千円増加したものの現金預金が5,041,837千円減少したことによるものです。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債合計は、10,414,096千円と前事業年度末と比べ994,406千円（8.7%）の減少となりました。主な要因は、支払手形・工事未払金が740,017千円、工事損失引当金が117,711千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産合計は、18,543,761千円と前事業年度末と比べ974,252千円（5.5%）の増加となりました。主な要因は、四半期純利益の計上1,490,264千円、剰余金の配当515,063千円などによるものです。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、前事業年度末比5,041,837千円減少し、6,765,911千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業キャッシュ・フローは、3,588,437千円の支出(前年同四半期は5,422,347千円の支出)となりました。主な要因は、税引前四半期純利益2,178,556千円の計上があったものの、売上債権の増加3,183,954千円、その他の流動負債の減少778,675千円、仕入債務の減少740,017千円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、1,534,321千円の支出(前年同四半期は6,749千円の収入)となりました。主な要因は、有形及び無形固定資産の取得による支出が1,968,002千円あったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、80,921千円の収入(前年同四半期は2,603,845千円の収入)となりました。主な要因は、短期借入金の増加が600,000千円あったものの、配当金の支払額が515,063千円あったことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年4月期の業績予想につきまして、2022年6月14日に公表いたしました「2022年4月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」に記載のとおりであり、業績予想は修正しておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年4月30日)	当第2四半期会計期間 (2022年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	11,857,749	6,815,911
受取手形・完成工事未収入金等	15,325,151	18,509,106
未成工事支出金	131,845	188,750
材料貯蔵品	9,948	7,812
その他	598,523	431,938
流動資産合計	27,923,219	25,953,519
固定資産		
有形固定資産	483,355	2,434,179
無形固定資産	75,753	70,139
投資その他の資産	495,683	500,019
固定資産合計	1,054,791	3,004,337
資産合計	28,978,010	28,957,857
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	7,359,474	6,619,456
短期借入金	—	600,000
未払法人税等	690,761	722,970
未成工事受入金	1,682,488	1,629,078
完成工事補償引当金	36,468	34,701
工事損失引当金	136,222	18,510
賞与引当金	179,580	266,383
役員賞与引当金	34,500	17,249
その他	1,060,431	315,696
流動負債合計	11,179,927	10,224,047
固定負債		
退職給付引当金	22,841	20,717
役員退職慰労引当金	164,273	—
その他	41,459	169,330
固定負債合計	228,575	190,048
負債合計	11,408,502	10,414,096
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,227,864	1,227,864
資本剰余金	762,864	762,864
利益剰余金	15,551,181	16,526,383
自己株式	△5,217	△5,317
株主資本合計	17,536,692	18,511,793
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	32,815	31,967
評価・換算差額等合計	32,815	31,967
純資産合計	17,569,508	18,543,761
負債純資産合計	28,978,010	28,957,857

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年5月1日 至2021年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自2022年5月1日 至2022年10月31日)
売上高		
完成工事高	17,631,414	16,618,498
その他の事業売上高	5,984	5,759
売上高合計	17,637,398	16,624,258
売上原価		
完成工事原価	15,072,061	14,158,661
その他の事業売上原価	3,036	2,971
売上原価合計	15,075,098	14,161,632
売上総利益		
完成工事総利益	2,559,352	2,459,837
その他の事業総利益	2,947	2,787
売上総利益合計	2,562,300	2,462,625
販売費及び一般管理費	689,580	715,013
営業利益	1,872,719	1,747,611
営業外収益		
受取利息	7	14
受取配当金	748	753
受取損害賠償金	6,351	—
受取補償金	—	800
雑収入	1,636	580
営業外収益合計	8,742	2,148
営業外費用		
支払利息	2,552	481
支払手数料	—	9,000
コミットメントフィー	4,528	2,972
営業外費用合計	7,080	12,453
経常利益	1,874,382	1,737,306
特別利益		
投資有価証券売却益	231	—
保険解約返戻金	—	441,250
特別利益合計	231	441,250
特別損失		
固定資産売却損	10,484	—
特別損失合計	10,484	—
税引前四半期純利益	1,864,129	2,178,556
法人税、住民税及び事業税	585,026	688,292
法人税等合計	585,026	688,292
四半期純利益	1,279,102	1,490,264

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年5月1日 至2021年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自2022年5月1日 至2022年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,864,129	2,178,556
減価償却費	26,672	22,792
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	225	△1,766
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△44,536	△117,711
賞与引当金の増減額(△は減少)	55,833	86,803
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△15,008	△17,250
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△3,965	△2,124
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,362	△34,712
受取利息及び受取配当金	△755	△768
受取損害賠償金	△6,351	—
受取補償金	—	△800
保険解約返戻金	—	△441,250
支払利息	2,552	481
支払手数料	—	9,000
コミットメントフィー	4,528	2,972
固定資産売却損	10,484	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△231	—
売上債権の増減額(△は増加)	△9,924,971	△3,183,954
未成工事支出金の増減額(△は増加)	1,863,591	△56,905
その他の棚卸資産の増減額(△は増加)	1,218	2,136
仕入債務の増減額(△は減少)	352,538	△740,017
未成工事受入金の増減額(△は減少)	499,015	△53,409
その他の流動資産の増減額(△は増加)	—	190,456
その他の流動負債の増減額(△は減少)	—	△778,675
その他	376,385	2,395
小計	△4,931,282	△2,933,753
利息及び配当金の受取額	755	768
損害賠償金の受取額	6,351	—
補償金の受取額	—	800
利息の支払額	△2,552	△481
支払手数料の支払額	—	△9,000
コミットメントフィーの支払額	△4,528	—
法人税等の支払額	△491,091	△646,771
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,422,347	△3,588,437
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,463	△1,968,002
有形固定資産の売却による収入	4,140	—
保険積立金の解約による収入	—	441,250
その他	6,073	△7,569
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,749	△1,534,321

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年5月1日 至 2021年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,700,000	600,000
自己株式の取得による支出	—	△100
リース債務の返済による支出	△4,197	△3,914
配当金の支払額	△91,956	△515,063
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,603,845	80,921
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,811,752	△5,041,837
現金及び現金同等物の期首残高	9,072,337	11,807,749
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,260,585	6,765,911

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

前第2四半期累計期間(自 2021年5月1日 至 2021年10月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	土木工事業	建築工事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,045,178	9,586,236	17,631,414	5,984	17,637,398
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,045,178	9,586,236	17,631,414	5,984	17,637,398
セグメント利益	1,281,132	588,639	1,869,771	2,947	1,872,719

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,869,771
「その他」の区分の利益	2,947
四半期損益計算書の営業利益	1,872,719

当第2四半期累計期間(自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	土木工事業	建築工事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,771,558	8,846,939	16,618,498	5,759	16,624,258
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,771,558	8,846,939	16,618,498	5,759	16,624,258
セグメント利益	1,411,360	333,463	1,744,824	2,787	1,747,611

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,744,824
「その他」の区分の利益	2,787
四半期損益計算書の営業利益	1,747,611

3. その他

(1) 四半期受注の概況

(単位：千円)

項目	前第2四半期累計期間 (自 2021年5月1日 至 2021年10月31日)		当第2四半期累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)		比較増減	増減率	
	金額	構成比	金額	構成比			
受 注 高	土木工事業	10,963,329	70.9%	8,302,856	30.8%	△2,660,472	△24.3%
	建築工事業	4,489,051	29.1%	18,671,351	69.2%	14,182,300	315.9%
	計	15,452,380	100.0%	26,974,207	100.0%	11,521,827	74.6%